

市政フォーラムの結果を報告します

その2 平田地域



平田地域11会場で開催した市政フォーラムには、合わせて935人の参加があり、活発な意見交換が行われました(写真は檜山地区市政フォーラム 10月1日)

●おたずねは／
広報情報課
(☎21-8578)
平田支所地域振興課
(☎63-3111)

今年も6月から開催している「市政フォーラム」。市の基本指針である「地域特性が光るまちづくり」の実現に向け、各地域の皆さんの意見をお聞きしています。今回は、7月31日から10月9日にかけて実施した平田地域で出された意見・提案の一部を紹介します。佐田・多伎・湖陵・大社地域の結果は、後日報告します。

Q シカやイノシシなど有害鳥獣対策は
A シカ対策については、今年7月に「出雲市弥山山人とシカの共生の森づくり審議会」から、適正頭数の管理、防護柵の改善などの被害防止対策、大規模な餌場の造成などを提言する答申が提出されました。その答申に基づき、今後、シカ対策基本方針を策定する予定です。また、平成19年度から林業3F事業で狩猟免許を新規に取得した方に対し、試験の手数料と講習会の費用を助成しています。イノシシ対策としては、今年度、捕獲檻の設置を増やし、昨年同時期に比べ、2倍以上の捕獲をしており、成果が上がっています。イノシシ用捕獲檻の設置に対し、3分の2の補助金を交付していますのでご利用ください。



工事が着々と進められている風力発電施設

Q 新出雲風力発電施設周辺に公園を整備して地域活性化を
A 新出雲風力発電所は、平成21年の4月から稼働を開始し、8月には関連する道路整備等全てが完成すると聞いており、事業者が予定するスケジュール通りに進んでいます。公園の整備については、十六島の風車公園のほか2か所の公園を設ける方向で、事業者側の協力が得られるよう調整しているところです。市としても風力発電施設を地域資源、観光資源として、これからの地域おこしに活用したいと考えています。

Q 災害時要支援者ネットワーク事業について、手挙げ方式のため、なかなか浸透しないのでは
A 平成18年7月の豪雨災害を教訓として、高齢や障がいなどにより災害時に支援を必要とする方々に対して、円滑な情報伝達や支援活動が行えるよう、市民生委員児童委員協議会、市社会福祉協議会と一緒に実施しています。

す。U・Iターンという形で4歳未満であれば、就農資金を貸し付けています。5年間農業を続けていただければ返還を免除しています。

Q 平成18年7月の豪雨災害を教訓として、高齢や障がいなどにより災害時に支援を必要とする方々に対して、円滑な情報伝達や支援活動が行えるよう、市民生委員児童委員協議会、市社会福祉協議会と一緒に実施しています。
A 全員登録をとるご意見もありますが、独り暮らしであっても、自分はまだ人の助けを借りなくても避難は十分できるという方や、近所に親族がいるため、避難や情報を得ることができるといった方もあり、個々のケースで事情が異なるということから手挙げ方式を採っています。

また、農業3F事業では、機械・施設整備にかかる費用の半分、上限100万円程度の補助金を交付する制度を実施しています。そのほか、アグリビジネススクールで学習を積み重ねていただくことも有効であると思います。今年度から野菜コースもつくりましたので、農業をビジネスとして成立させるためにも活用してください。
Q 総合医療センターの整備と診療科目の充実について
A 総合医療センターの整備計画については、平成19年3月に策定した基本計画に基づき、改築等の整備を推進しています。現在、実施設計を行っており、12月議会に建設費の補正予算を計上、来年

3月に着工、平成23年2月頃には新棟の運営開始、平成24年3月頃の施設整備完了を目標して準備を進めています。診療科については、基本計画において、地域の診療体制や医療ニーズなどを踏まえ、現行の16科を維持することとしています。



Q 東部新中学校の整備状況は
A 今年度は用地取得を行います。平成21〜22年度にかけて、校舎等の実施設計、敷地造成を行います。平成23年度から校舎、屋内運動場、プールの工事に着手し、平成25年4月を開校予定としています。

敷地は26,000㎡。校舎は、鉄筋コンクリート3階建てで、中庭を配置し、片廊下で、教室の採光、通風等に配慮した建物を予定しています。いずれにしても細かい内容

内容は実施設計の段階で、期成同盟会や地域の皆さんと調整を図りながら進めていきます。

Q 小学校の統廃合について、具体的計画があるのか
A 小学校の統廃合については、現段階では検討していません。ただ、少子化の進展に伴い、児童数が減少傾向にあり、長期的な視点では、教育的な観点も踏まえて検討していく必要があると考えています。

Q この小学校の再編については、特定の学校・地域だけで考える問題ではなく、全市の議論の中で将来のあり方を検討すべきものと認識しています。そのうえで、学校の統廃合の問題については、児童数の推移だけではなく、地理的条件や地域のみなさんの思いも充分聞きながら対応していかねばならないと考えています。

Q 燃料高騰による農業・漁業への支援策は
A 農業については、原油・飼料・化学肥料の高騰対

策として、農業3F事業の中でメニューの新設・拡充を行ったところです。具体的には、ハウスを省エネタイプにするとか、重油の代わりに木材チップを使う設備に換える場合に、国・県の補助金に乗せるといったものです。漁業については、12月議会ですべての産業に言えることですが、直接の差額補てんというよりは、省エネルギー対策や代替エネルギーへの切替に対して市は支援をしていきたいと考えています。

Q 市道上の立木伐採を
A 中山間地域の市道・農道・林道は法面のほとんどが民地であり、基本的に民地の場合は、所有者の方に対応していただいています。しかしながら、枝が垂れ下がったりして交通安全上特に危ないという所については、現地を調査検討しますので、土木委員会を通じてご相談ください。

市では、新規就農者に対して、農業支援センターを中心に支援を行っています。